

【参加実人員： 137人】

【参加延べ人員： 755人】

【全日程（7日）修了者： 82人】

内訳として、保護者・市民18、子どもの家等放課後余暇支援職員等20、保育士・幼稚園教諭18、放課後デイサービス職員6、その他（学級支援員9、子育て支援センター3、ファミリーサポートセンター職員2、小学校教諭1、学級介助員1、スクールアシスタント1、保健衛生嘱託員1人、主任児童委員1、育成専任支援員1）。

【フォローアップ講座受講修了者： 53人 うち名簿登録者 28人（令和1年6月1日現在）】

【アンケート結果について】

・講義内容について

具体例（経験談）があり分かりやすかった。ロールプレイを通じて少数派の気持ちが理解できた。グループワークが良かった。個々への具体的な対処法をもっと学びたい。

・現場での活用

職場の意識改革のためには、職場全体で講座内容を共有することが必要だし、この講座を他の職員に受けて（体験して）欲しい。同じ園の先生たち同士でも理解し合って、園全体で支援していけるといいと思う。具体的な対処方法を知りたい。特性を生かすことはよく職場でも話し合いになるので特別扱いにならないようにする方法を学びたい。

・日頃の具体的な関わりについて

自分の子が支援を必要とする子で、どう接すればよいか悩んでいたのが先生の話聞いて気持ちが楽になった（少し道が見えた、など）。通常級の担任なので特別支援のことがよく分からなかったのですが、2日間あっという間楽しく学ぶことができた（夏の集中講座）。少数派の気持ちを読み取り、多数派の子ども達に通訳し、仲良く安心して学校生活を送れるように支援していきたい。小学校で特別支援級の介助員をしているが、どのようなことに留意して接していくべきか悩んでいた。講義は大変有意義だった。学童の支援員をしているが、子ども達への声かけ、アイデア、遊び等役立つ話しが聞けた。目には見えないが心の根っこを育てることの大切さや肯定的関わり、多様性を理解することの大切さを学んだ。

・開催の仕方について

子育て中の親御さんが参加しやすいように、時間・託児・子ども同伴等も考えて欲しい。保護者や子ども向けにも行って欲しい。

・他職種連携等

教員・保育士さん等色々な職種の方がおり、話しが聞けて楽しかった。個人情報を守る等で縛られて、横のつながりがなかなかとれないが、講座を通じて様々な立場の方と交流できたことがプラスになった。